

J-CKD-DB-Ex 研究にご協力いただきました患者様へ

—「J-CKD-DB-Ex を活用した腎診療における腎予後および合併症予測アルゴリズムの開発」の概要—

研究責任者 横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター 准教授 矢野裕一朗

研究分担者

医療法人社団こころとからだの元氣プラザ 健康づくり事業本部調査事業分析室 室長 鐘江宏

横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 長尾 智晴

横浜国立大学 経産省 NEDO「共進化 AI プロジェクト」特任教授 荒井 敏

横浜国立大学 経産省 NEDO「共進化 AI プロジェクト」特任助教 小林雅幸

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 講師 板野 精之

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 准教授 長洲 一

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 教授 柏原 直樹

1. 研究の概要

慢性腎臓病とは、腎臓の働き（糸球体濾過量（GFR：Glomerular Filtration Rate））が健康な人の60%以下に低下する（GFRが60 mL/分/1.73 m²未満）か、あるいはタンパク尿が出るといった異常が3ヶ月以上続いた状態を言います。この病気が進行すると、腎臓の代わりとなる治療（腎代替療法（腎移植、腹膜透析、血液透析など））が必要になることがあります。

慢性腎臓病の腎臓が悪くなる速度は様々で一部の患者様では非常に早い速度で低下することがわかっております。しかしなぜそのような個人差があるのかはわかっておりません。本研究では人工知能技術を使用して臨床で得られた検査値などから腎機能を予測することを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

先行研究である J-CKD-DB-Ex で登録された患者さんのデータを使用します。（川崎医科大学・同附属病院倫理委員会 承認番号：3173-1）

2021年4月5日時点では15万人以上の患者さんのデータが登録されております。

2) 研究期間

研究期間：倫理委員会承認日（実施許可日） ～ 2024年3月31日

3) 研究方法

先行研究である J-CKD-DB-Ex では対象（主に慢性腎臓病に該当する患者）となられた患者さんの電子カルテ情報を自動抽出することでデータベース（J-CKD-DB-Ex）を作成しました。

J-CKD-DB 事務局で J-CKD-DB-Ex データの一部の切り出しを行い、「横浜国立大学」に送り人工知能技術を用いて解析を行います。この時点で誰のデータかはわからない形で、さらにパスワードがかかり暗号化された電子媒体（USB や HDD）などに入れて送ります。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、病名、病歴、検査結果、処方内容 等

5) 外部への情報提供

この研究に使用する情報は、二次利用をおこないません。また共同研究期間内でのデータのやり取りはありますが、他機関へのデータの提供はありません。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究で使用したデータは研究終了後5年で適切に破棄をします。
研究成果は論文や学会等で発表いたします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究はあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。この研究で使用するデータは申し出があっても個人を識別することが出来ないため登録除外することは出来ないことをご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 腎臓内科

氏名：長洲 一

電話：086-462-1111 内線 27511（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1046

E-mail: mfukushima@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は、「令和2～4年度糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献」の支援を受けて実施されます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、日本腎臓学会利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。